

教育部 97 年度「全球化下的台灣文史藝術中綱計畫—  
國際交流計畫成果報告」

計畫名稱：帝國主義與文學國際研討會

計畫期程：2008.8.1~2008.8.3

主辦單位：日本愛知大學

協辦單位：美國哈佛大學、台灣清華大學

計畫主持人：黃英哲、王德威、廖炳惠

撰寫人：廖炳惠

會議日期：2008年8月1~3日

攜回文件：論文集、海報、議程、剪報

報告內容：

一、 本次大會由日本愛知大學主辦，台灣清華大學與美國哈佛大學協辦，台灣官方除了文建會（所屬之台灣文學館）補助漢唐樂府演出外，教育部亦補助國內七位學者台北-名古屋來回機票與會議期間生活費，而會議進行之同步翻譯則由國科會透過專案推動案的方式加以補助。會議三天均是高朋滿座，以耶魯大學東亞系系主任 John Treat 教授的話來說：「幾乎所有日本相關的重量級學者均到會」，相當圓滿成功。

二、 六位學者（含哈佛大學王德威教授，另外事先赴日有李承機、邱貴芬教授）於七月三十一日搭乘國泰班機 CX531 赴日本名古屋，下午 3:30 抵達，愛知大學派車前來迎接，立刻進駐名古屋王子商務會館，晚上 7:00 由愛知大學文化文學部舉行歡迎晚宴，讓學者彼此認識、交談，氣氛融洽。

三、 八月一日上午 8:30 即出發前往會場，地點是愛知大學市區分部，設備極其優越，可容納三百人，只見開幕時台下已超過二百五十人，均是各方之重要學者，且多是自費前來與會。代校長佐藤先致歡迎詞（當天下午，校董投票，佐藤教授真除為校長），之後由我代表國科會與教育部、王德威代表哈佛大學簡短講話，壓軸貴賓則是文建會黃主委碧瑞。

四、 八月一日到三日會議共計八場次，發表論文共 32 篇，十分緊湊，雖然論文及議題引起熱烈迴響，可惜討論時間過於短促，所幸每天晚上之聚餐與酒會讓學者有更多時間再進一步討論。

五、 會議三日均有配合主題之書展，中日相關書籍相當多，便利學者選購。松浦恆雄、黃英哲及我本人所編之《文本越界》亦在七月三十一日出版，由著名之研文社社長親自送到會場，五十本一下子售罄，頗多好評。

六、 八月一日下午研討會完畢後，漢唐樂府之表演是另一個高潮，陳總監上台為大家講解樂器與曲目。

七、 八月三日閉幕時聽眾仍有近兩百人，足見其吸引力。日本各大報社亦全程參與，並撰文報導。八月四日則由愛知大學安排，參觀列為日本國家文化財之愛知同文館校史收藏，其中國父孫逸仙對愛知大學前身及第一屆校長知贊許墨寶，乃至學者、教師、本科生之檔案均富中日文化交流之歷史意義，令人眼界大開。

八、 八月五日下午七位學者（含李承機）一起返國，圓滿完成。

文 化

戦時、日本が統治した台湾や朝鮮半島などから  
かれた文学作品の研究が熱を帯びている。戦後  
ていた作品資料の整理が進むほか、内外の研究  
の交流なども活発になってきた。持ちつ持たれ  
てきた「植民地作家」の作品で日本文学の新しい  
「植民地作家」の作品で日本文学の新しい

今、五、二十、七、(中略)植民地作家の  
中の未知な部分「我々の植民地作家は日本文  
籍と文学」と題して国際シンポジウムが開かれ  
た。日本、台湾、北米など、植民地作家の  
多から研究が参加し、研究が参加し、研究が  
民主主義と近代性」をテーマにした。それら  
する文章「……多岐にわたる植民地作家の  
タイプに分類し、植民地作家の政治的な  
論議しようとしている。植民地作家の政治的な  
表現について、植民地作家の政治的な表現  
について、植民地作家の政治的な表現

作品刊行相次ぐ

研究が盛り上がり、植民地作家の作品が相次いで刊行されている。植民地作家の作品が相次いで刊行されている。

旧植民地の日本語文学

文化の混交、影響探る

植民地作家の作品が相次いで刊行されている。



シンポでは若い研究者らが活発に討論した(上日、名古屋中)

研究に新視点

植民地作家の作品が相次いで刊行されている。研究に新視点。

冷静に内容分析

研究者の関心も高まっている。冷静に内容分析。

冷戦に内容分析

研究者の関心も高まっている。冷戦に内容分析。

東大教授は台湾と中国との関係について「植民地、日本、国民」として外米政権の支配を受けざることを文化のクレーオール(純血)性を探る。植民地作家たちの交流環境は、一般向けに植民地作家たちの交流環境を紹介した。また中国人作家が井川龍を渡したこともあり、「アジアにおける日本文学」への関心が高まっている。文学史家は、植民地文学は「文学史の一環」として扱われるべきであると主張している。植民地文学は日本文学史の重要な部分である。植民地文学は日本文学史の重要な部分である。

植民地作家の作品が相次いで刊行されている。研究に新視点。

文化部 土橋道彦

國際共同シンポジウム

# 帝国主義と文学

## 植民地台湾・中国占領区・「満州国」

8月1日(Fri)

◆記念講演 10:30-11:10

木山英雄(一橋大学名誉教授)  
主流を離れて—周作人・廢名の場合

◆対談 11:20-11:50

David Der-wei Wang(ハーバード大学)  
戦争と文学  
—胡適成戦争和戦後の同学政治

◆第1セッション 13:00-15:00

帝国主義と文化—種族主義と現代性  
[座長]-----藤田佳久(慶応大学)  
[座長]-----廖炳惠(台湾清華大学)  
王曉明(上海大学)  
宇野木 洋(立命館大学)  
Leo Ching(デューク大学)  
[コメンテーター] 若林正文(東京大学)  
中生謙美(岩手県立大学)

◆第2セッション 16:15-17:15

帝国主義と文学 I—越境する文学  
[座長]-----藤井省三(東京大学)  
[座長]-----Karen Thornber(ハーバード大学)  
Faye Yuan Kleeman(コロンビア大学)  
濱田麻矢(神戸大学)  
黎福祥(中国社会科学院)  
[コメンテーター] 大村崑夫(早稲田大学名誉教授)  
川村 謙(法政大学)  
王中忱(中国清華大学)  
星名宏隆(琉球大学)

◆記念公演 17:30-18:30

「演習」演奏  
台湾「漢唐楽府」演奏  
台湾行政院文化建設委員会後援

8月2日(Sat)

◆対談講演 9:30-10:00

John Treat(イェール大学)  
Collaboration and Colonial Modernity

◆第3セッション 10:00-12:00

帝国主義と文学 II—ことばと文学  
[座長]-----西田 翫(福間地文化学会代表)  
[座長]-----陳碧君(中央研究院)  
張泉(北京市社会科学院)  
王綱(東北師範大学)  
大久保明男(西條大学東京)  
[コメンテーター] 長永正義(一橋大学)  
黄基賢(慶応大学)  
岡田英樹(立命館大学)

◆第4セッション 13:00-15:00

帝国主義と文学 III—まなごしの先にあるもの  
[座長]-----易水 駿(立命館アジア太平洋大学)  
[座長]-----董朝月(中国社会科学院)  
委水千恵(横浜国立大学)  
王中忱(中国清華大学)  
May-yi Shaw(ハーバード大学)  
[コメンテーター] 江賢毅(中正大学)  
野村 謙(立命館大学)  
林少陽(東京大学)  
西原和博(福間地文化学会員)

◆第5セッション 16:15-18:45

帝国主義と文学 IV—受け手と創り手  
[座長]-----廖炳惠(台湾清華大学)  
[座長]-----黄美娥(台湾清華大学)  
梅香琴(台湾清華大学)  
陳子善(東南師範大学)  
[コメンテーター] 洪邵如(一橋大学)  
齊藤敏康(立命館大学)

◆第6セッション 17:00-18:30

帝国主義と文学 V—翻られる表象  
[座長]-----三好 章(慶応大学)  
[座長]-----李承模(成均大学)  
星名宏隆(琉球大学)  
西村正男(福岡学院大学)  
[コメンテーター] 委水千恵(横浜国立大学)  
梅香琴(台湾清華大学)  
雷祥立(東南師範大学)

8月3日(Sun)

◆対談講演 10:00-10:30

岡田英樹(立命館大学)  
「満州国文学」の研究現状  
及び問題点

◆第7セッション 10:30-12:00

帝国主義と映画  
[座長]-----藤森 猛(慶応大学)  
[座長]-----三澤真美恵(日本大学)  
張新民(大塚市立大学)  
Poshek Fu(イリノイ大学)  
[コメンテーター] 邱坤良(台北芸術大学)  
好庄 晶(近畿大学)  
菅原薫乃(関西大学)

◆第8セッション 13:00-14:30

帝国主義と演劇  
[座長]-----松浦智雄(大阪市立大学)  
[座長]-----邱坤良(台北芸術大学)  
三須祐介(立命館大学)  
松浦智雄(大阪市立大学)  
[コメンテーター] 田村容子(福井大学)  
西村正男(関西学院大学)

◆総合討論 16:45-17:00

[座長]----- David Der-wei Wang  
(ハーバード大学)  
[パネリスト]--- John Treat(イェール大学)  
Karen Thornber(ハーバード大学)  
邱貴芬(中興大学)  
廖炳惠(台湾清華大学)  
藤井省三(東京大学)  
岡田英樹(立命館大学)  
川村 謙(法政大学)  
張泉(北京市社会科学院)  
王中忱(中国清華大学)  
王曉明(上海大学)

国際共同シンポジウム実行委員会  
委員長 易水 駿 / 副委員長 長岡正子 / 事務局長 笠原 啓  
コメンテーター 岡田英樹

2008年8月1日(金)・2日(土)・3日(日)  
愛知大学車道校舎コンベンションホール

〒481-8641 名古屋市中区高井二丁目10-31 TEL.052-837-8111 (代)

使用言語—日本語・中国語(同時通訳あり)

お問い合わせ先 ● 愛知大学古蔵校舎総務課 〒470-0296 愛知県西尾市三好町町屋370  
TEL.0561-38-1111 FAX.0561-38-5548 E-mail: yingcho@ichu.ac.jp



主催: 愛知大学 / 台湾清華大学 / ハーバード大学東アジア言語・文明学部 後援: 財団法人文芸協会 / 台湾行政院國家科學委員會 / 福間地文化交流基金会